



2025 年 12 月 1 日

「TOHOネクストステージファンド」による株式会社RESTAへの
投資実行について～当ファンド第3号案件～

株式会社東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、東邦リース株式会社（代表取締役社長 青木 智）及びスパークル株式会社（代表取締役 福留 秀基）を共同運営会社として創設した「TOHOネクストステージファンド（以下「本ファンド」）」を通じ、第3号案件として株式会社RESTA様（代表取締役 松川 力也氏、以下「当社」）への投資を実行しましたのでお知らせいたします。

当社は須賀川市に本社を設け、オンラインによる障がい者の就労支援に特化したIT訓練・キャリア支援サービスを展開する企業です。本ファンドから調達した資金で障がい者就労支援インフラの拡充等を進めます。

当行では、引き続き本ファンドの活用を通じて、福島の将来を担うスタートアップ企業のチャレンジを後押しし、地域経済の活性化・地方創生に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

社名	株式会社RESTA
代表者	松川 力也
本社所在地	福島県須賀川市
資本金	17百万円
設立	2022年6月9日
URL	https://professional.resta-career.com/
事業概要	障がい者就労支援事業（就労移行支援・人材紹介・採用コンサル）

【代表者からのコメント】

この度、TOHOネクストステージファンドから資金調達を実施しました。今回の資金調達を弾みとし、東日本大震災から15年を迎える2026年に福島のゼブラ企業として、事業をさらに成長させていきます。

私自身は、小学校6年生の時に震災を経験しました。小学校の校庭が崩れていく瞬間や教室の窓ガラスが割れる瞬間を、今でも鮮明に覚えています。その後、14歳で脳内出血を経験し左半身不随になり、医療・福祉に自分の人生を救われました。21歳で言語聴覚士の資格取得後、医療・福祉業界で働き23歳で法人を福島で設立しました。事業拡大に伴い、東京に本社移転を行いましたが、今年6月に本社を故郷・須賀川市に再度移転しました。私たちは、「誰しものが、再挑戦できる世界を創る」ことをミッションに掲げ、就労支援事業の事業拡大を行っています。

2026年は、4月に障がい者法定雇用率が再度引き上げられ、対応に難儀する企業が増える「2026年問題」が生じると予想されます。RESTAは、福島県の企業や障がい者の方々を支援し、2030年までに従業員数200名を超えるゼブラ企業として成長し、地域の福祉の充実と地域経済に貢献していきます。RESTAの成長の節目に、資金調達の決断をしてくださったTOHOネクストステージファンドに心から感謝申し上げます。

以 上

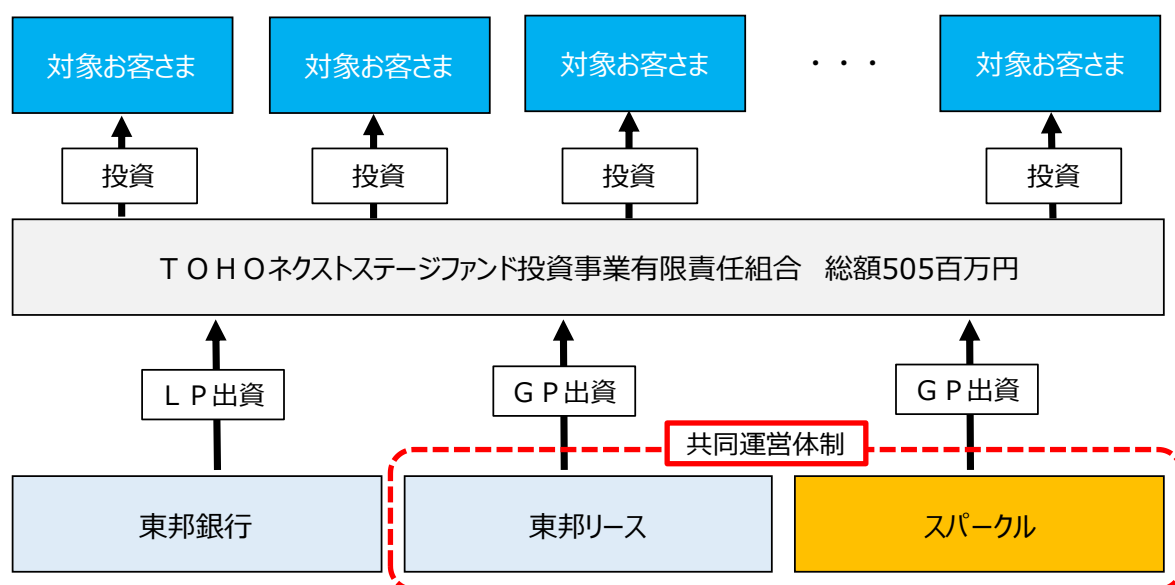
東邦銀行

<参考>

1. ファンドの概要

名称	TOHOネクストステージファンド (TOHOネクストステージファンド投資事業有限責任組合)	
目的	「創業の地 ふくしま」の確立に向け、地域のスタートアップ企業に長期安定的な資本性資金の供給を行う	
設立日	2024年11月21日	
出資総額	505百万円	
有限責任組員	株式会社東邦銀行	(出資約束額 500百万円)
無限責任組員	東邦リース株式会社	(出資約束額 2.5百万円)
	スパークル株式会社	(出資約束額 2.5百万円)
投資手法	社債、優先株式等	
運営期間	10年	

2. ファンドのスキーム図



東邦銀行グループでは、『サステナビリティ宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。